

市民公開講座



「日韓関係を見つめる市民公開講座」

- ◆日韓関係が緊張していますが、宮城県において知られていない交流の歴史とは？
- ◆渡来人の時代から始まって、宮城県と韓国との繋がりを知っていますか？
- ◆関心をお持ちの方はどなたでも参加できます！
- ◆「震災の現実・経験」を通して、被災地および日本社会における「多文化共生」のビジョンと、その道筋を考えていきます
- ◆昨今のハイトスピーチや偏狭なナショナリズムの応酬、不寛容な社会に問題提起します

日時 2013年11月24日(日) 14時～17時

会場 仙台シルバーセンター6F 第2研修室
宮城県仙台市青葉区花京院1丁目3番2号
東北電子専門学校、IDC 大塚家具ビルとなり

司会 郭 基煥さん(東北学院大学経済学部教授)

第1部 宮城ゆかりの日韓近代史

齊藤泰彦さん(栗原市 大林寺 住職)

佐藤信行さん(外国人被災者支援センター)

第2部 未来への提言

(第1部報告者+学生によるパネルディスカッション形式)

連絡先 日韓関係を見つめる市民公開講座 実行委員会
mail: miyagi.kouza@gmail.com

在日韓国青年会 宮城県地方本部
miyagi@seinenkai.org

会場案内

市民公開講座
「日韓関係を見つめる市民公開講座」

◆会場
仙台シルバーセンター 6F
第2研修室

※会場には駐車場のご用意をしておりません。

近隣の駐車場をご利用いただくか
公共の交通機関にてお越してください。



大林寺

【為国献身軍人本分】
(国の為、身を献げるは軍人の本分)

伊藤博文射殺事件から70年後の昭和54年は
安重根生誕100周年に当たり、その式典に供える為
この遺墨は惜しまれつつ故国の韓国へと返還された。
それを機に、この遺墨を刻んだ
「安重根と千葉十七の記念碑」
が日韓両国永遠の友好を祈念して
千葉の眠る栗原市若柳の大林寺に建立された。
以来、多くの日韓人によって、
七き二人の心情を偲びつつ
「永遠の平和」を祈る追悼法要が毎年続けられている。
それはまた、両国間の不幸な歴史を学ぶ
「恩讐を越えた心」の大切な「ひととき」でもある。

連絡先 日韓関係を見つめる市民公開講座 実行委員会
mail: miyagi.kouza@gmail.com

在日韓国青年会 宮城県地方本部
miyagi@seinenkai.org

外国人被災者支援センター

3.11の東日本大震災以降、
地域に定住する外国籍住民の方が
以前から抱えていた諸問題が
顕在化しました。

そういった諸問題に対して、
被災者の方に寄り添うような
活動を続けていきたいと思います。